

変えなくっちゃ!上尾

3

政治に変化を!

若者よ 立ち上がれ!
 働く人よ 立ち上がれ!
 お父さん、お母さん 立ち上がれ!
 納税者よ 立ち上がれ!
 税金は誰のために 使われるべきか。
 公債費(借金返済)、人件費、他で
 全予算の90.3%も投下している
 この実態は何だ。(経常収支比率県下ワースト1)
 強大な現市長の勢力
 それを支える企業、組織、政党も
 有権者全体から見れば少数派。
 声は小さいけれど
 新世紀の流れを決めるのは

そうした組織に属さない
 人々だと断言できます
 今まで沈黙してきた
 この大量の人々の
 熱く強い潮流が
 上尾の新しい政治に
 ふさわしいと
 私たちは思っています。
 みなさんにお訴えます
 市長の交代を突破口に
 政治に変化を!
 新世紀のために
 政治に変化を!



新世紀の新市長は
 上尾を託せる

あさのめ 義英 よしひで

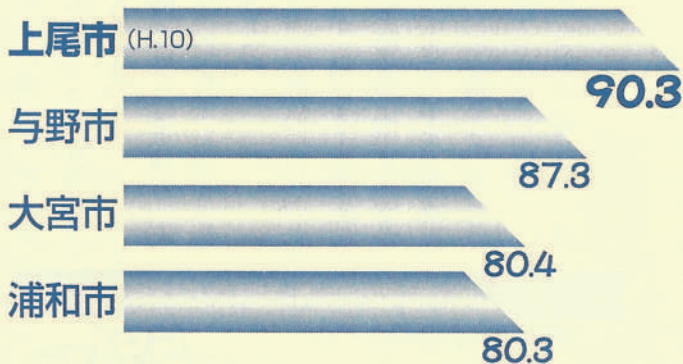
上尾高、法政大卒、小学校教師を経て
 市議4期(25歳~41歳)、元議長、41歳

希望と感動のある
 21世紀の上尾を創ります。

変えなきゃ!-1 経常収支比率

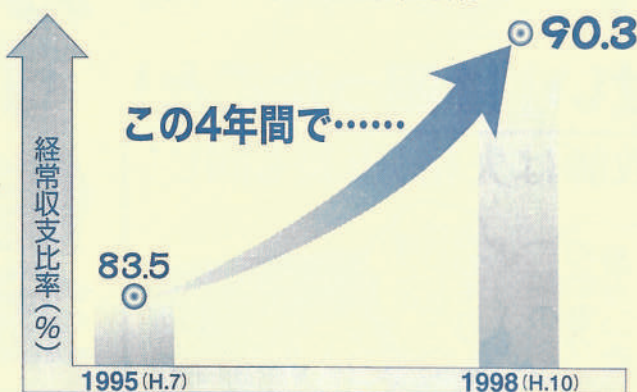
(=義務的経費比率:%)

『週刊ダイヤモンド・この街が倒産する! 財政破綻度ランキング』より



変えなきゃ!-2 上尾市の経常収支比率の推移

『平成10年度実績報告書(上尾市)』より



■経常収支比率とは?

公債費(借金)、人件費他毎年必ず支出しなければならない経費の割合です。(上尾市は90.3%)
 当然のように市民のために使う経費が残りのお金ということになります。この比率が高いということは借金返済などに圧迫されて、財政の資金繰りが苦しいということになります。100%に近づくほど危機的な状態。

上尾市は埼玉県ワースト1!

過去からの補助金は、既得権として継続されることが多く、莫大な額になっています。しかも新しい意義ある活動は、補助を受けにくいのが実態です。各団体への補助金を白紙に戻し、全て同じスタートラインで第三者機関によって審査し見直します。本当に必要な団体にお金がいくように考え、必要な補助金とは何かを考え、財政再生につなげていきます。※NPO(非営利団体)

4 NPOよ元気になれ!各団体への補助金の交付は公募制にします

「市債=借金」の額はいつも一般会計のみで、水道会計などの借金は完全に隠されています。負の資産は市民に全て開示するべきです。税金は、市民から預かっているものとの自覚を高めます。貴重な税金の処分せんの間違いを検証し、再生プログラムを強力に推進します。

3 負の資産を市民に全面公開し、再生プログラムを強力に推進します

どんな人にもまちを愛する心があります。感動と希望ある上尾にしていかなければなりません。買わなくてもいいハコモノを無くすため、政策決定過程を市民の手に戻します。市民の声、地域の力を求め、必要とする市政をつくりあげます。

2 市民一人ひとりが主役です。政策決定過程を市民の手に戻します

少子化が進んでいます。現に小学校、中学校、高校では多くのあき教室が生まれています。後世に莫大なツケを回すハコモノ建設を徹底的に見直し最小限にします。既存の施設をきちんと整備し有効利用をはかり、財政を再生させていただきます。

1 次世代にツケが回るハコモノ建設 中心主義を徹底的に見直します

上尾再生計画

どうしますか?

将来世代に負担先送り

四年間で借金加速

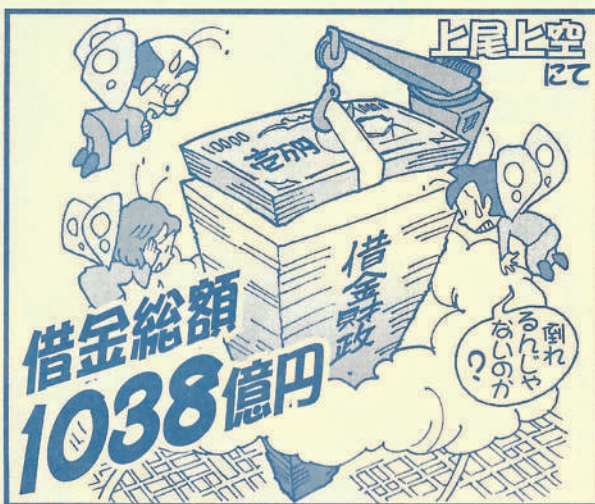
市財政赤字拡大の二途

上尾市にとり昨年一九九九(平成十一年)は、市民の記憶に永遠にとどめられる年になった。

累積の全市債残高(借金)が一〇〇〇億円を突破したのだ(一般会計だけでも約六〇〇億円もの膨大な借金がある)。これを二万の人口で割ると二人あたりでは約五〇万円になる。五人家族で二五〇万円の借金という訳だ。埼玉県内最悪の数値だ。気の遠くなるこの数字に、他市の財政担当者も、「実にひどい数字だ」と驚愕している。

実は四年前、荒井松司前市長時代の市債残高は二五八億円余りであった。この数字を新井弘浩氏は選挙で「トップが財政の勉強をしていないからだ」と痛烈に攻

4年で急増!
県下一の借金財政!



新井市政になってから市債(借金)が急増。経常収支比率も「赤信号」の90%を超えています。

「私のつくった借金ではない」
あきれましょう!

撃し、荒井氏を叩き落とし市長に就任した。借金非難しながら、自分はずいぶんこの四年借金を着々と増やしてきたのだろうか。よくわからない。

この莫大な借金は、これから続く数年間上尾の将来を支えていく子どもたちの両肩にガッシリとのしかかり、彼らを苦しめることになる。想像を絶する借金を

上尾市を揺るがす借金二千億円!

してまでも、特定の目先の満足を呼ぶ市政運営を続けてきたのだ。その結果借金は財政の限界まで増えてしまった。

私はこれまで「口が酸っぱくなるほど」支出は選択しろ。借金は一刻も早く返せ」と市議会で言い続けてきた。

上尾市役所では「節電」が熱心に行われている。立派なことだが、単なる小手先の歳出削減策では、借金膨張に歯止めがかけられない。漫然と続けてきた事業、無謀に決断した事業が、本当に必要なかどうかを検証し、身動き取りやすい財政にしないと、都市といえども生き残れない時代にいつてきた。

新井市長は「どこもみな財政危機だ」とよく語る。だからそれでいい訳がない。「上尾再生」のための大緊急シナリオが編成されなければならないのである。なぜそのことがわからないのだろうか。しかも、ここが月間の集会やチラシの中で、「私がつくった借金ではない」との市長発言には、絶望的にあきれ他はない。なぜ立ち向かおうとしないのだろうか。

もし小淵総理が「国の累積債務(借金)は、私がつくったものではない」と語ったらどうなるであろうか。マスコミは総攻撃をかけ、国民的非難が巻きおこるはずだ。内閣は不信任を受け、即刻衆議院は解散するはずでもある。

上尾市民全てのために、完全認識錯誤の財政運営、市政運営をもうあと四年も続けさせては絶対にいけないのである。

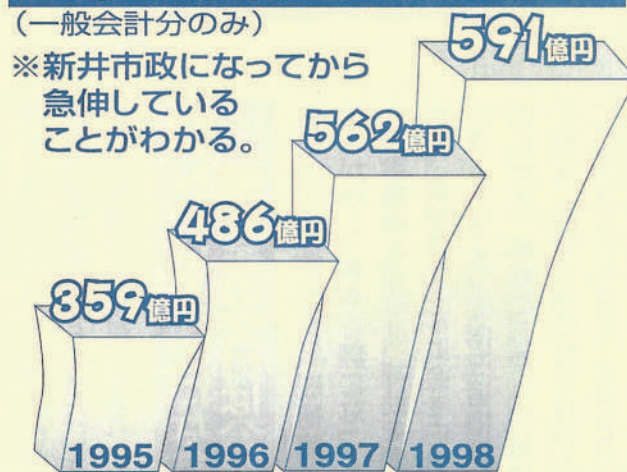
(浅野目 義英)

『責任逃れ、人のせい』は困ったこと!

こんなことを言ったら教師は失格!市長も同じ!



【上尾市の借入金の推移】



あさのめ後援会

上尾市原市3669-1 TEL&FAX 048-723-0655
あさのめホームページ <http://www01.netweb.ne.jp/~asanome/>
E-mail asanome@netweb.ne.jp

「ご意見をお待ちしています!」

HAND TO HAND ● このチラシを手から手へ

皆さんの力を結集して上尾を変えましょう!

サポーター大募集
ご連絡お待ちしております